

## 河川の変異原性試験 試料中の被検物質の濃縮及び回収 ブルーコットン法

C.I.Reactive Blue を脱脂綿(セルロース)とを炭酸ナトリウムのアルカリ性の温水中で縮合する。

よく洗浄し、物理的に付着している色素を取り除く。

ジメチルスルホキサイドで洗浄。

メタノール-濃アンモニア水(50:1)で洗浄。

乾燥(ブルーコットン)

吸着は変異原水溶液に浸して、ゆるく振り混ぜると起こる。

吸着 1回目ブルーコットン 10mg/mL を変異原溶液に加え、室温で 30分振とう。

ブルーコットンを取り出す。

吸着 2回目新たにブルーコットン 10mg/mL を変異原溶液に加え、室温で 30分振とう。

ブルーコットンは水洗いし、ペーパータオルでぬぐう。

綿 100mg に対して、5mL のメタノール-濃アンモニア水(50:1)で 30分緩やかに振り溶出する。

再度綿 100mg に対して 5mL のメタノール-濃アンモニア水(50:1)で 30分緩やかに振り溶出する。

溶出液を減圧下乾固するまで留去。

残渣をジメチルスルホシドに溶解する。

変異原の吸着

早津 彦哉

トキシコロジーフォーラム

1983 Vol 6 No 3 242-249